

クラブ組織強化の手引き

国際ロータリー 第2840地区

2005 - 06年度

ロータリー21世紀委員会

はじめに

RI 理事会は、全世界のロータリークラブにクラブ・リーダーシップ・プラン（Club Leadership Plan：CLP）の適用を推奨しています。CLP とは、クラブ組織を強化するための効果的なクラブの運営枠組みを提供するプランで、従来のクラブ運営の枠組み（特に、委員会構成）とは大きく異なっています。（CLP についての詳細は、別資料「クラブ・リーダーシップ・プランについて」を参照してください）この手引きは、CLP に基づいた、クラブ組織強化の手順と地区が提供できる支援ツールを解説したものです。

1. クラブの委員会編成について

CLP に基づく新しい推奨ロータリークラブ細則（2004 年『手続要覧』には未掲載）では、常設委員会を機能別に再編・簡素化するよう求めています（細則 第9条）。委員会構成の再編を検討し、最終的にはクラブ細則を改定する必要があります。（曽我年度は、CLP の理解と各クラブでの適用検討を進める移行年度と位置づけられます。）

クラブ細則の改定や組織強化検討（クラブ改革）のための特別委員会（ビジョン委員会、21世紀委員会等の呼称。他の常設委員会と兼任で、クラブ内の幅広い層の会員を選抜する）の設置をお願いします。

クラブ情報通信担当役員（Club Internet Communication Officer：CICO）の配置（1名）をお願いします。IT 委員会を設置し委員長が CICO となるか、あるいはインターネット通信の得意な会員が他の委員会と兼任の形になっていただいても結構です。これは、地区の IT 委員会委員長が地区インターネット通信担当役員（District Internet Communication Officer：DICO）として、ROTARY JAPAN の最新情報やクラブ支援情報を各クラブに提供する体制に呼応するものです。

2. クラブ組織強化の手順

クラブ組織強化のための特別委員会を設置して、以下の手順を実施します。

- A. まずクラブの現状を把握しましょう。(できる限り正確・客観的に)
そのための支援ツールは、『会員満足度アンケート』
『クラブ活力テスト』(2005年版)
を用意しています。
- B. ロータリー理念(奉仕の理想)を全員で再確認・共有化しましょう。
そのための支援ツールは、
田中 毅氏の『ロータリー研修シリーズ』(パワーポイントとPDF ファイルのテキスト:『職業奉仕 理念と実践』『ロータリーの危機』『ロータリー 未来への展望』 地区協基調講演 など。分区・グループ単位での研修・勉強会等で使用する場合は、講師派遣も可能です。)を用意しています。
- C. クラブ・会員のあるべき姿(理想像)を明確にしましょう。
参考資料として、『前橋 RC クラブ・会員の理想像』
を用意しています。
- D. 理想と現実とのギャップを埋める活動を推進しましょう。
(CLP の「クラブを強化する 9 つの手順」を参考にしてください)
以下は、クラブ組織強化の活動例です。
- (1) もし組織の改革が必要ななら、推奨クラブ細則を基に、クラブの実態と改革の方向性に合ったクラブ独自のクラブ細則を作成する。(特に、委員会構成の根本的見直しが必要です。)
 - (2) 職業分類表の整備と定期見直しを行う。(地域の現状に合った多様でバランスのとれた職業人の集合体としてクラブが組織されれば、的確な情報・ニーズをもたらすでしょう。)
 - (3) 例会の魅力再生のため、プログラムを創意工夫する。(外部卓話の充実、クラブ・フォーラムの活用など)
 - (4) 新会員へのオリエンテーションを強化し、現会員へのロータリー教育を定例化する。
 - (5) 常に地域のニーズを探索し、地域社会に対する独自の奉仕プロジェクトを開発する。(例:環境保全、教育支援、福祉、少年スポーツ・文化芸術の支援、NPO との共同事業など)

.....

以上のクラブ組織強化(クラブ改革)の実践例として、
前橋 RC の「クラブ改革提言(21 世紀特別委員会報告書 04.6.30)」を参考資料として用意しています。

(2005.4月)